

# 足立工業株式会社



国内外のカリスマ美容師  
が求める美容バサミを製造

岐阜県  
関市広見113-2

1971年(昭和46年)設立  
TEL 0575-22-0052

代表取締役  
足立 榮美

関の刃物で培った加工技術と独自デザイン的美容バサミを年間10万丁生産し、国内外のプロフェッショナルに愛用されている。

## 伝統的な刀剣刃物の産地を設備で支えた機械メーカーがはさみ製造業に転換

伝統的な刀剣刃物産地「関市」で、刃物や陶磁器等のメーカーからの依頼を受けて製造機械の設計製作をしていたが、オイルショック後業種を転換し、他社が手がけようとしなかった精度の高いプロ用の理美容バサミの製造を開始した。他社の追従を許さない技術を蓄積することで、敢えて営業部隊を持たずOEMに徹しているものの、国内外のカリスマと呼ばれる優秀な美容師の支持を獲得し、高付加価値型の経営を実現している。

## 独自のデザインが新たなヘアファッションをも創出

従来の梳きバサミでは、2本の刃に挟まれた髪が刃先線に沿って滑る傾向がある。同社が開発した梳きバサミは、刃先にレーザー照射し極微小な複数の凹部を形成することで、梳き歯が相手刃体に引っかかることなく滑らかに、かつ髪の滑りが抑えられるという特徴を有する(特許取得済)。また、従来品に比べ2倍の歯数を持つと共に、曲線を付けた独自の歯形状がもたらす切れ味・機能とも相まって国内外の有名美容師の創作意欲を刺激し、その結果、現在若い女性に人気のヘアデザイン「シャギー」が生まれている。また、バランスのとれたフィット感のあるデザインにより(意匠登録済)、小さな角度でも元まで刃が広がり指に優しく腱鞘炎になりにくい。国内のプロフェッショナル層におけるシェアは約60%を獲得している。

## さらなる市場、それはプロ中のプロが使用する医療分野

現在、美容バサミで培った加工技術等を応用して、医療器具分野への展開に挑戦しており、大学病院と共同で、腹腔鏡手術用鉗子の開発を行っている。これは、国内ではどこも製品化できなかった、精度の高いプロ用商品の製造を目指す同社の先進的取組の一つである。



刃先にレーザー照射し、極微小な溝を形成。また、小さい開閉角度で刃元まで開き、指に優しく腱鞘炎になりにくい。



歯歯が円柱になり、毛束が抜けやすい梳き鉗